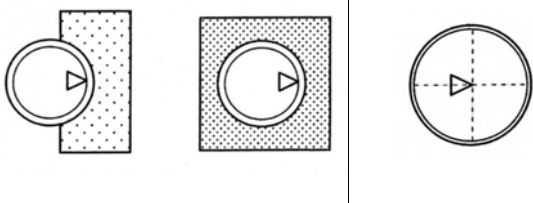
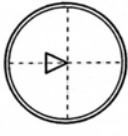
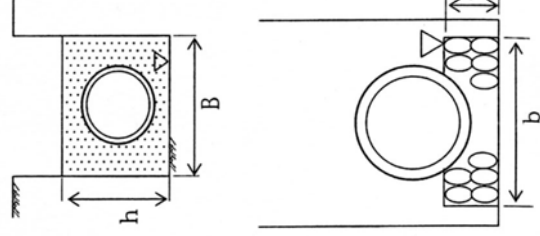
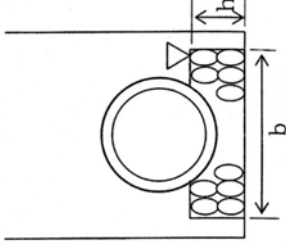


出来形管理基準及び規格値 第12編 下水道編

：出来形管理図表を作成する。
 ：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理


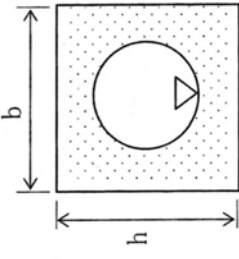
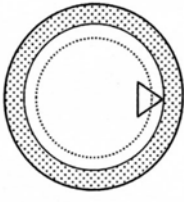
単位：mm

編	章	節	条	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
下水道	1 管路	3 管きよ工(開削)	4 管布設工	管布設 (自然流下管)	基準高	±25	基準高、中心線の変位(水平)は、マンホール間の中央部及び両端部を測定する。 延長 ℓ はマンホール間を測定する。		
					中心線の変位(水平)	±25			
					延長 ℓ	- ℓ /500 かつ -200			
					総延長 L	-200			
下水道	1 管路	3 管きよ工(開削)	4 管布設工	圧送管	基準高	±25	施工延長 20m毎、又は測点毎に測定する。		
					中心線の変位(水平)	±25			
					総延長 L	-200			
下水道	1 管路	3 管きよ工(開削)	5 管基礎工	砂基礎	幅 B	-50	施工延長 40m (測点間隔 25mの場合 は 50m) につき 1箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所 につき 2 箇所		
					厚さ h	-30			
下水道	1 管路	3 管きよ工(開削)	5 管基礎工	砕石基礎	幅 b	-50	施工延長 40m (測点間隔 25mの場合 は 50m) につき 1箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所 につき 2 箇所		
					厚さ h	-30			

出来形管理基準及び規格値 第12編 下水道編

：出来形管理図表を作成する。
 ：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

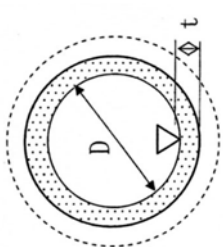
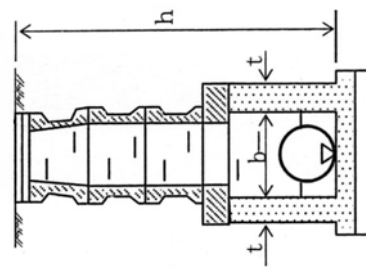
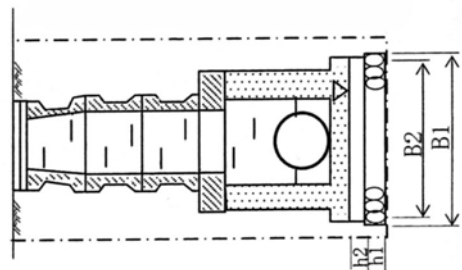
単位：mm

編	章	節	条	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
下水道	1 管路	4 5 管きよ工(小口径推進 推進)	3 推進工	推進工	基準高	±50	基準高、中心線の変位(水平)は、推進管1本ごとに1箇所測定する。また、掘進中の蛇行状況、推進力等をまとめる。 延長ℓはマンホール間を測定する。		
					中心線の変位(水平)	±50			
					延長 ℓ	- ℓ /500 かつ - 200			
					総延長 L	- 200			
下水道	1 管路	4 5 管きよ工(小口径推進 推進)	4 立坑内管布設工	空伏工	基準高	±50	1 施工箇所ごとに測定する。		
					幅 b	- 30			
					高さ h	- 30			
					中心のずれ	±50			
					延長	- 50			
下水道	1 管路	6 管きよ工(シールド)	3 二次覆工	掘進工	基準高	±50	基準高、中心線の変位(水平)は、セグメント5リングにつき1箇所測定する。 延長ℓはマンホール間を測定する。		
					中心線の変位(水平)	±100			
					延長 ℓ	- ℓ /500 かつ - 200			
					総延長 L	- 200			

出来形管理基準及び規格値 第12編 下水道編

：出来形管理図表を作成する。
 ：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

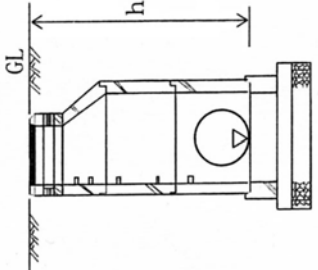
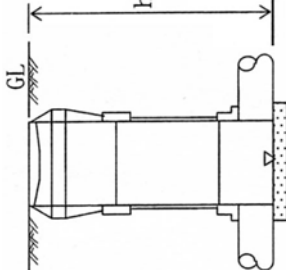
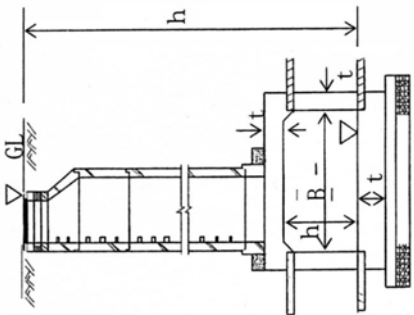
単位：mm

編	章	節	条	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
下水道	1 管路	6 管きよ工(シールド)	4 二次覆工	二次覆工	基準高	±50	基準高、中心線の変位(水平)は、施工延長40mにつき1箇所測定する。 二次覆工厚は、1打設につき端面で上下左右4点を測定する。 仕上がり内径は、施工延長40mにつき1箇所測定する。 勾配 ±20% 延長 ℓ - $\ell/500$ かつ -200 総延長 L - 200		
					中心線の変位(水平)	±50			
					二次覆工厚 t	- 20			
					仕上がり内径 D	±20			
					勾配	±20%			
					延長 ℓ	- $\ell/500$ かつ -200			
					総延長 L	- 200			
下水道	1 管路	7 マンホール工	3 標準マンホール工	標準マンホール工	基準高	±25	1 施工箇所ごとに測定する。 幅 b (内法) - 20 厚壁 t - 10 高さ h - 20		
					幅 b (内法)	- 20			
					厚壁 t	- 10			
					高さ h	- 20			
					基準高	±30			
					基礎工幅 B1	- 50			
					基礎工高 h1	- 30			
コンクリート工幅 B2	- 30								
コンクリート工高 h2	- 10								
下水道	1 管路	7 マンホール工	3 標準マンホール工	マンホール基礎工	基準高	±30	1 施工箇所ごとに測定する。 基礎工幅 B1 基礎工高 h1 コンクリート工幅 B2 コンクリート工高 h2		
					基礎工幅 B1	- 50			
					基礎工高 h1	- 30			
					コンクリート工幅 B2	- 30			
					コンクリート工高 h2	- 10			
					基準高	±30			
					基礎工幅 B1	- 50			
基礎工高 h1	- 30								
コンクリート工幅 B2	- 30								
コンクリート工高 h2	- 10								

出来形管理基準及び規格値 第12編 下水道編

：出来形管理図表を作成する。
 ：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

編	章	節	条	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
下水道	1 管路	7 マンホール工	4 組立マンホール工	組立マンホール工	基準高	± 25	1 施工箇所ごとに測定する。		
			高さ h		- 20				
下水道	1 管路	7 マンホール工	5 小型マンホール工	小型マンホール工	基準高	± 25	1 施工箇所ごとに測定する。		
			高さ h		- 20				
下水道	1 管路	8 特殊マンホール工	4 躯体工	現場打ち特殊人孔	基準高	± 25	1 施工箇所ごとに測定する。		
			幅 B		- 20				
			高さ h		- 20				
			壁厚 t		- 10				